

《記入例・ちゅう房施設》

様式第1(第3条関係)

特定施設設置(使用、変更)届出書

年 月 日

(あて先)さいたま市長

該当する届出を選択

さいたま市 浦和区 常盤 6-4-4
届出者 (株)〇〇〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇

(氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名)

(電話番号 048-〇〇〇-〇〇〇〇)

水質汚濁防止法第5条第1項又は第2項(第6条第1項又は第2項、第7条)の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

該当する条文を選択

工場又は事業場の名称	実際に設置する工場名、所在地を記載	〇〇〇店	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		〇〇区〇〇3-2-1	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類の欄	66の5 飲食店に設置されるちゅう房施設	※施設番号	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※審査結果	
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。	※備考 備考1参照 なお、特定施設が複数ある場合は全て記載	
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の廃水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
	△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。		
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類の欄			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

- 備考 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第1に掲げる号番号及び名称(指定地域特定施設にあっては、名称)を記載すること。
- 2 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 3 ※印の欄には、記載しないこと。
- 4 排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
- 5 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 6 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。
- 7 氏名(法人にあってはその代表者の氏名)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあってはその代表者)が署名することができる。

別紙1

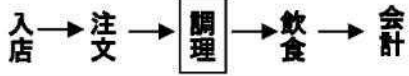
特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	1	2
特定施設号番号及び名称	66の5 飲食店に設置されるちゅう房施設	
型 式	_____	届出規模以上の浄化槽を設置する場合は必要事項を記載。その場合、表紙の特定施設の種類を追記する必要有り。
構 造	鉄筋コンクリート 地上2階建	以降別紙2も記載する必要有り。
主要寸法	1F ○○×○○ 2F △△×△△ 延べ床面積 □□□㎡	構造、寸法の分かる構造図を添付
能 力	○○○食/日	
配 置	別紙配置図のとおり	事業場内の配置図を添付 設置届の場合は記載しない
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	平成○○年○○月○○日	年 月 日
工事完成予定年月日	平成△△年△△月△△日	年 月 日
使用開始予定年月日	平成□□年□□月□□日	年 月 日
その他参考となるべき事項		提出日の60日以降の年月日

備考 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

別紙2

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	1 ← 別紙1の施設番号を記載				
特定施設号番号及び名称	66の5 飲食店に設置されるちゅう房施設				
設置場所	別紙配置図のとおり ← 別紙1配置図と同じ図で可				
操業の系統	 ← フロー図を記載。別紙可。特定施設が分かるように囲う。				
使用時間間隔	連続				
1日当たりの使用時間	24時間				
使用の季節的変動	無し				
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たり使用量	食材：〇〇〇食／日 食器洗い洗剤：〇〇ℓ／日				
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	7.5	8.5	汚染が考えられる項目を全て記載	
	BOD	130	135		
	SS	120	125		
	COD	135	140		
	T-N	0.5	0.8		
	T-P	0.1	0.2		
	ノルマルヘキサン抽出物質	3.0	4.0		
汚水等の量 (m ³ /日)	通常	最大	通常		
	5.0	7.5			
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙3

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	1(工程排水処理)		2(工程排水・生活排水処理)						
処理施設の設置場所	別紙配置図の通り		別紙配置図の通り						
設置年月日	年 月 日		年 月 日						
工事着手予定年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日		平成●●年●●月●●日						
工事完成予定年月日	平成△△年△△月△△日		平成▲▲年▲▲月▲▲日						
使用開始予定年月日	平成□□年□□月□□日		平成■■年■■月■■日						
種類及び型式	油水分離槽 ○○-△		浄化槽 ●●-▲						
構造	別図のとおり		別図のとおり						
主要寸法	同上		同上						
能力	〇〇m ³ /日		●●m ³ /日						
処理の方式	油水分離		担体流動生物ろ過						
処理の系統	排水 → 油水分離 → 浄化槽へ流入		排水 → 調整槽 → 担体流動槽 → 生物ろ過槽 → 放流						
集水及び導水の方法	別紙配置図のとおり		別紙配置図のとおり						
使用時間間隔	連続		連続						
1日当たりの使用時間	24時間		24時間						
使用の季節変動	無し		無し						
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	無し		次亜塩素酸カルシウム 0.1kg/日						
汚水等の汚染状態及び水量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	7.5	7.5	8.5	8.5	7.5	7.5	8.5	8.5
	BOD	130	125	135	130	160	<20	250	25
	SS	120	110	125	120	130	<50	150	60
	COD	135	130	140	135	180	<20	280	25
	T-N	0.5	0.5	0.8	0.8	30	25	35	30
	T-P	0.1	0.1	0.2	0.2	5.0	4.0	8.0	6.0
	ノルマルヘキサン抽出物質	3.0	1.0	4.0	2.0	1.0	0.5	2.0	1.5
大腸菌	-	-	-	-	3000以上	<3000	3000以上	3000	
量 (m ³ /日)	5.0	5.0	7.5	7.5	10	10	15	15	
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	含油汚泥 0.1m ³ /月 産廃委託処理				し尿汚泥 0.1m ³ /月 市処理場で処分				
排出水の排出方法	別紙配置図のとおり				別紙配置図のとおり				
その他参考となるべき事項	合併処理浄化槽へ排出				排出口1→〇〇川				

- 備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。
- 2 排水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

別紙4

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		排出口1			
	種類・項目	通常	最大	通常	最大
排水水の汚染状態	pH	7.5	8.5		
	BOD	<20	25		
	SS	<50	60		
	COD	<20	25		
	T-N	25	30		
	T-P	4.0	6.0		
	ルマルヘキサン抽出物質	0.5	1.5		
	大腸菌	<3000	3000		
排水水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		10	15		
その他参考となるべき事項					

別紙3の項目を全て記載

別紙3の浄化槽の処理後を記載

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

排水水の排出系統別の汚染状態及び量

T-PとT-NIについても同様に記載

工場・事業場排水の総量規制
(埼玉県発行)を参考に記載

		指定項目の別		化学的酸素要求量 (COD)						※
業種その他の区分	汚染状態 (mg/l)	水量 (m ³ /日)				汚濁負荷量 (kg/日)				
		通常	最大	通常	最大	Q _{co}	Q _{ci}	Q _{cj}	通常	
特定排水水	213	20	25	10	15	0	0	15	0.2	0.38
合計				10	15	0	0	15	0.2	0.38
特定排水水以外の排水水	種類及び用途	汚染状態 (mg/l)		水量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)				
		通常	最大	通常	最大	通常	最大			
	合計									
その他参考となるべき事項	<p>※ 汚濁負荷量の計算方法</p> <p>汚染状態(通常) × 水量(通常) ÷ 1000 = 汚濁負荷量(通常) 汚染状態(最大) × 水量(最大) ÷ 1000 = 汚濁負荷量(最大)</p> <p>※ ちゅう房施設と浄化槽の両方を有する場合</p> <p>業種その他の区分については、ちゅう房施設が優先されるため、「飲食店」として取り扱います。</p>									

- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
 - 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
 - 3 窒素含有量について記載する場合には、「Q_{co}」を「Q_{no}」と、「Q_{ci}」を「Q_{ni}」と読み替え、Q_{cj}の欄には記載しないこと。
 - 4 リン含有量について記載する場合には、「Q_{co}」を「Q_{po}」と、「Q_{ci}」を「Q_{pi}」と読み替え、Q_{cj}の欄には記載しないこと。
 - 5 ※印の欄には記載しないこと。

用水及び排水の系統

<p>用水及び排水の系統</p>	<pre> graph TD A["上水道 (10m³)"] --> B["ちゅう房 (5m³)"] A --> C["生活用水 (5m³)"] B --> D["油水分離槽"] C --> E["浄化槽 (10m³)"] D --> F["排出口1"] E --> F F --> G["〇〇川"] </pre>		
	<p>フロー図を記載。水量は別紙3に基づき記載。</p>		
<p>用途別 用水使用量</p>	<p>用途</p>	<p>使用水</p>	<p>用水使用量 (m³/日)</p>
	<p>ちゅう房</p>	<p>上水道</p>	<p>5</p>
	<p>生活用水</p>	<p>上水道</p>	<p>5</p>
		<p>↑</p>	<p>フローの内容と合致するように記載</p>